焼津市水道事業中期経営計画

達成状況

最終報告書

（平成 27 年度～令和元年度）

令和２年 12 月

焼津市水道部

目　次

Ⅰ　中期経営計画について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
Ⅱ　事業計画及び実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
　1　水需要予測・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
　2　主要施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2
　（1）安全でおいしい水の安定供給・・・・・・・・・・・・・・・・　2
　（2）災害に強い水道の確立・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2
　（3）経営の健全性の確保・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2
　（4）お客さまサービスの充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3
　3　設備投資計画及び実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4
　4　中期財政収支計画及び実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
　（1）収益的収入及び支出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
　（2）資本的収入及び支出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
　5　企業債残高・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8
　6　業務指標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8
Ⅲ　環境負荷低減への取組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10
　1　建設工事における資源リサイクルの推進・・・・・・・・・・・　10
　2　省エネルギー対策の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10
Ⅳ　計画達成状況の総合評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10
Ⅴ　計画達成状況の公表
　1　公表時期・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10
　2　公表方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10

本報告書において、改元に伴う元号による年度表示については、「平成 31 年度」を用いず「令和元年度」に統一して表記しています。

Ⅰ 中期経営計画について

水道事業は、独立採算により経営を行う公営企業であると同時に、水道利用者に安心・安全な水を安定的に供給する義務があります。また、近年の節水意識の高揚、節水機器の普及等により水需要が伸び悩む一方で、老朽化が進む施設や水源、管路の更新や巨大地震等への災害対策の充実等の必要性が高まっていることから、より一層企業経営を意識した事業運営により健全性を維持し、安心・安全な水を安定的に供給できるよう、将来の水需要を踏まえて計画的に施設更新を行う必要があります。

このようなことから、第５次焼津市総合計画に掲げられた「安全な水の安定供給」を実現し、運営指針である焼津市水道ビジョンの目標を基に効率的で安定した経営を行うため、平成27年３月に、平成27年度から令和元年度までの５年間を計画期間とする『焼津市水道事業中期経営計画』を策定し、事業を進めてきました。このたび、令和元年度決算をもって計画期間が終了しましたので、実績に基づき最終報告します。

Ⅱ 事業計画及び実績

１ 水需要予測

項　　目		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
行政人口（人）	計画	142,874	142,287	141,699	141,112	140,524
	決算	141,610	140,861	140,189	139,594	139,217
給水人口（人）	計画	141,948	141,433	140,849	140,265	139,681
	決算	140,684	140,016	139,348	138,757	138,381
普及率（%）	計画	99.4%	99.4%	99.4%	99.4%	99.4%
	決算	99.4%	99.4%	99.4%	99.4%	99.4%
一日平均給水量(㎥)	計画	56,967	56,808	56,512	56,216	55,708
	決算	57,460	55,967	55,839	55,338	54,958
一日最大給水量(㎥)	計画	65,660	65,610	65,180	64,640	64,220
	決算	67,916	65,306	63,850	63,307	62,476
年間給水量（㎥）	計画	20,850,000	20,735,000	20,627,000	20,519,000	20,389,000
	決算	21,030,179	20,427,991	20,381,391	20,198,359	20,114,512
年間有収水量(㎥)	計画	19,000,000	18,931,000	18,853,000	18,775,000	18,697,000
	決算	19,149,938	18,979,801	18,889,303	18,593,235	18,364,104
有収率（%）	計画	91.1%	91.3%	91.4%	91.5%	91.7%
	決算	91.1%	92.9%	92.7%	92.1%	91.3%

水需要では、節水意識の高揚や節水機器の普及などに加え、行政人口・給水人口の減少により年間給水量及び年間有収水量も減少傾向にあり、令和元年度の計画と実績を比較すると給水人口で1,300人（約１%）、年間給水量で274,488㎥（約1.3%）下回りました。

また、年間有収水量と有収率について令和元年度の計画と実績を比較すると、年間有収水量で計画より332,896㎥（約1.8%）、有収率で計画より0.4ポイント下回りました。引き続き、漏水調査と漏水箇所の修繕を実施するとともに、計画的な老朽管の更新により有収率向上に努めます。

２　主要施策

(1) 安全でおいしい水の安定供給

ア　水源の計画的な更新による取水量の確保

将来の水需要予測を踏まえた取水計画に基づき、平成27年度に祢宜島９号及び中新田８号、平成28年度に祢宜島12号及び中新田11号、平成29年度に中新田10号、平成30年度に中新田12号、令和元年度に中新田17号水源のさく井工事を行い、５年間で祢宜島系水源２井、中新田系水源５井の更新を行いました。計画に沿った更新の結果、水源35箇所に対し23箇所の更新が終了し、更新率65.7％となりました。

イ　計画的な管路の更新

老朽化した基幹管路・配水支管の計画的な更新を行い、平成27年度に9,307m、平成28年度に8,796m、平成29年度に8,527m、平成30年度に8,814m、令和元年度に9,384mを実施しました。その結果、令和元年度末の配水管総延長897.7kmに対し、169.8kmを更新し、管路耐震化率18.9％となりました。また、他事業関連区域に残存している石綿セメント管について、対象延長3,871mに対し、2,999mを更新し、残延長872m（残存率22.5％）と減少しています。引き続き当該事業の進捗に合わせて更新を行います。

ウ　老朽施設の更新

管路を除く水道施設について、平成27年度に元小浜調整池整備工事、平成28年度に高崎第一調整池整備工事を実施し、老朽化した２つの調整池を更新しました。また、日常の点検や定期的な診断と修繕により、設備の長寿命化に努めました。

以上、計画どおり事業を実施し、安全でおいしい水の安定供給に努めました。

(2) 災害に強い水道の確立

ア　管路の耐震化

防災対策の強化推進を図るため、平成27年度から中新田系配水場内より北に伸びる中新田系基幹管路更新工事を行い、同配水場から小土地区まで3,628mが完成しました。導水管については、平成27年度に408.8m、平成28年度に446.4m、平成29年度に594.7m、平成30年度に620.8m、令和元年度に422.6mの更新工事を実施しました。また、基幹管路の耐震化率は、令和元年度末の基幹管路総延長47.5kmに対し、15.6kmを更新し、32.8％となりました。

イ　危機管理体制の確立

焼津市水道事業災害応急計画、焼津市水安全計画など各マニュアルの検証・見直しを行い、改訂しました。また、実践に即した防災訓練を定期的に実施するとともに、平成28年度の給水車１台の更新をはじめ、応急給水活動等が迅速に実施できるよう、資機材を整備しました。

以上、計画どおり事業を実施し、災害に強い水道の確立に努めました。

(3) 経営の健全性の確保

ア　財政計画の推進

水道ビジョンに基づく中期経営計画について、毎年度終了後にフォローアップ会議を開催し、計画の進捗管理を行うことにより進捗状況に応じて次年度の予算に反映させました。

企業債借入については、計画を上回る当年度純利益が確保できたことから平成28年度と令和元年度にそれぞれ計画より５千万円と１億円減額し、企業債残高の抑制に努めました。

大井川広域水道企業団の経営対策会議等に参加し、事業内容のチェックや経営計画等について積極的に関与しました。平成28年度には経営対策会議等において料金改定に関する協議検討を行い、平成29年度から受水費が低減されました。

イ　業務の効率化

関連する委託業務について、一括で発注するなど、業務の効率化を図りました。

平成28年度に契約した水道料金検針収納業務委託及び平成30年度に契約した配水場運転管理業務委託では、発注時に委託業務内容の見直しを行い、委託可能な業務を加えることで業務の効率化を図り、コスト削減に繋げました。平成30年度の公営企業会計システム導入に際し、下水道会計と共同でシステム構築及び事務運用の見直しを行うことにより、安定した新システムの導入を実現しました。令和元年度の上水道地図情報システム更新にあたっては、水道施設台帳の管理や資産管理及び水道施設情報の一元化を推進し、事務の効率化を図りました。また、ピーク時の使用電力量の抑制に加え、平成27年度には配水場等の高圧受電施設の電力調達方法の見直し、平成28年度には水源等の低圧受電施設の契約種別の見直しを行った結果、動力費等に係る電気料金が低減されました。

ウ　有収率の向上

漏水調査・修繕及び老朽管の更新により漏水防止を図り、高水準の有収率を維持しました。また、漏水の原因となる鉛製給水管について、配水管更新工事や給水管漏水修繕工事に併せて取替えを行いました。さらに、各種広報活動や、住宅改築時に取替え指導を行うことで、鉛製給水管の解消に取り組みました。

以上、計画どおり事業を実施し、経営の健全性の確保に努めました。

(4) お客さまサービスの充実

ア　広報・広聴活動の充実

広報やいづ及び水道事業ホームページに、水道水の水質、工事情報、給水装置の適正管理などの情報や、水道事業の透明性を確保するため、経営状況や災害対策などの情報を定期的に掲載し、わかりやすく、的確な情報提供に努めました。平成29年度には、焼津市の水道事業の歴史・水源・水道水の製造過程などについて、利用者の水道事業への関心を高めてもらうことを目的とした広報用映像を制作し、ホームページからも視聴できるようにしました。令和元年度には、水道新聞「焼津の水道」を発行し、水道料金が他の自治体と比べて安いことや、焼津市の水が厳しい水質基準をクリアした安全でおいしい水であることなどを広報しました。また、夏休み親子施設見学会や小学校の施設見学、水道出前講座などにおいて、水の大切さや水道事業の災害対策等についてＰＲ活動を行いました。

イ　給水サービスの充実

水圧や要件が整う三階建てや高層共同住宅について、給水相談や申込の際に指導、審査し、直結給水の拡大を進めました。また、給水装置の維持管理のための資料としてお客様に給水装置工事の竣工図の郵送を行う等、お客様サービスを改善しました。

ウ　水道料金お支払い方法の拡充

収納方法の拡充を図る目的で、コンビニエンスストアでの水道料金の納付について調査・研究を進めた結果、平成30年１月から取り扱いを開始しました。また、スマートフォン等アプリ決済の導入について検討を行いました（令和２年８月から取り扱いを開始)。

以上、計画どおり事業を実施し、お客様サービスの充実に努めました。

3　設備投資計画及び実績

【計画】

年　度		平成27年度	平成28年度	平成29年度
水源施設関連事業		水源２井更新 水中ポンプ１井更新	水源２井更新	水源１井更新 水中ポンプ１井更新
配水場関連事業	祢宜島配水場	―	―	―
	中新田配水場	場内整備	―	―
	調整池 等	元小浜調整池更新 花沢ポンプ所ポンプ更新	高崎第一調整池更新	―
管布設事業	配水支管	配水支管更新 新設一般 他事業関連	配水支管更新工事 新設一般 他事業関連	配水支管更新 新設一般 他事業関連
	基幹管路	基幹管路更新（配水管） 基幹管路更新（導送水管）	基幹管路更新（配水管） 基幹管路更新（導送水管）	基幹管路更新（配水管） 基幹管路更新（導送水管）
工事費合計		932,373	998,700	1,017,200

【実績】

年　度		平成27年度	平成28年度	平成29年度
水源施設関連事業		祢宜島９号水源さく井 中新田８号水源さく井 祢宜島４号水源ﾎﾟﾝﾌﾟ更新	祢宜島12号水源さく井 中新田11号水源さく井	中新田10号水源さく井 祢宜島11号水源ﾎﾟﾝﾌﾟ更新
配水場関連事業	祢宜島配水場	―	―	―
	中新田配水場	場内整備	―	―
	調整池 等	元小浜調整池更新 花沢ﾎﾟﾝﾌﾟ場ほかﾎﾟﾝﾌﾟ更新	高崎第一調整池更新	―
管布設事業	配水支管	配水支管更新 L=5,017m 新設一般 L=350m 他事業関連に伴う更新 L=2,221.7m	配水支管更新L=3,323.4m 新設一般 L=102m 他事業関連に伴う更新 L=2,874.5m	配水支管更新L=4,746.4m 新設一般 L=213.5m 他事業関連に伴う更新 L=1,332.4m
	基幹管路	基幹管路更新（配水管） L=1,309.6m 基幹管路更新（導送水管） L=408.8m	基幹管路更新（配水管） L=2,049.2m 基幹管路更新（導送水管） L=446.4m	基幹管路更新（配水管） L=1,640.3m 基幹管路更新（導送水管） L=594.7m
工事費合計		869,018	913,289	997,040

【計画】　　単位：千円

年　度		平成30年度	令和元年度	事業費計
水源施設関連事業		水源１井更新 水中ポンプ２井更新	水源１井更新	276,334
配水場関連事業	祢宜島配水場	管理棟電気・機械設備更新	－	10,000
	中新田配水場	－	－	11,040
	調整池 等	－	－	101,819
管布設事業	配水支管	配水支管更新 新設一般 他事業関連	配水支管更新 新設一般 他事業関連	1,868,292
	基幹管路	基幹管路更新（配水管） 基幹管路更新（導送水管）	基幹管路更新（配水管） 基幹管路更新（導送水管）	2,674,588
工事費合計		1,002,400	991,400	4,942,073

【実績】

年　度		平成30年度	令和元年度	事業費計
水源施設関連事業		中新田12号水源さく井 祢宜島８号水源ポンプ更新 中新田10号水源ポンプ更新	中新田17号水源さく井 祢宜島12号水源起動盤更新	270,381
配水場関連事業	祢宜島配水場	－	－	0
	中新田配水場	－	－	9,009
	調整池 等	－	－	72,708
管布設事業	配水支管	配水支管更新　L=5,219.2m 新設一般　L=181.8m 他事業関連に伴う更新 L=1,524.2m	配水支管更新　L=6,360.2m 新設一般　L=18.3m 他事業関連に伴う更新 L=1,127.4m	1,799,037
	基幹管路	基幹管路更新（配水管） L=1,267.7m 基幹管路更新（導送水管） L=620.8m	基幹管路更新（配水管） L=1,455.3m 基幹管路更新（導送水管） L=422.6m	2,618,846
工事費合計		1,047,580	943,054	4,769,981

4　中期財政収支計画及び実績

(1) 収益的収入及び支出（税抜き）

単位：千円、％

区分		平成27年度			平成28年度		
		計画	決算	決算/計画	計画	決算	決算/計画
収益的収入	営業収益	2,133,452	2,151,063	100.8	2,132,398	2,126,944	99.7
	給水収益	2,101,852	2,129,055	101.3	2,102,098	2,108,971	100.3
	受託工事収益	28,496	19,209	67.4	27,300	14,931	54.7
	その他営業収益	3,104	2,799	90.2	3,000	3,042	101.4
	営業外収益	172,701	187,720	108.7	172,216	173,946	101.0
	受取利息及び配当	6,178	8,260	133.7	4,825	3,634	75.3
	他会計負担金	4,331	4,394	101.5	4,400	4,955	112.6
	他会計補助金	0	0	—	0	0	—
	長期前受金戻入	149,573	160,822	107.5	150,991	152,066	100.7
	雑収益	12,619	14,244	112.9	12,000	13,291	110.8
	特別利益	8,727	0	0.0	0	0	—
	計	2,314,880	2,338,783	101.0	2,304,614	2,300,890	99.8
収益的支出	営業費用	1,915,290	1,858,148	97.0	1,978,501	1,809,419	91.5
	給与費	169,156	182,059	107.6	171,000	179,033	104.7
	動力費	111,841	93,229	83.4	112,000	70,784	63.2
	受水費	426,339	426,272	100.0	425,191	425,107	100.0
	受託工事費	25,496	17,308	67.9	26,000	13,413	51.6
	委託料	227,424	217,397	95.6	230,000	224,818	97.7
	修繕費	77,687	48,774	62.8	112,000	46,545	41.6
	減価償却費	794,520	788,469	99.2	799,055	779,071	97.5
	資産減耗費	26,356	42,428	161.0	38,245	31,087	81.3
	一般管理費	56,471	42,212	74.7	65,010	39,561	60.9
	営業外費用	123,235	108,029	87.7	129,471	99,675	77.0
	支払利息	113,010	106,962	94.6	119,212	98,711	82.8
	雑支出	10,225	1,067	10.4	10,259	964	9.4
	計	2,038,525	1,966,177	96.5	2,107,972	1,909,094	90.6
当期純利益・損失		276,355	372,606	134.8	196,642	391,796	199.2

(2) 資本的収入及び支出（税込み）

単位：千円、％

区分		平成27年度			平成28年度		
		計画	決算	決算/計画	計画	決算	決算/計画
資本的収入	企業債	400,000	400,000	100.0	400,000	350,000	87.5
	他会計負担金・補助金	7,849	7,849	100.0	0	4,454	—
	工事負担金	58,711	43,875	74.7	44,781	54,840	122.5
	長期貸付金償還金	60,191	60,191	100.0	61,566	61,566	100.0
	計	526,751	511,915	97.2	506,347	470,860	93.0
資本的支出	事務費	140,973	148,290	105.2	154,300	143,881	93.2
	給与費	87,552	90,266	103.1	100,000	82,554	82.6
	委託料	51,555	53,391	103.6	51,300	60,412	117.8
	一般管理費	1,866	4,633	248.3	3,000	915	30.5
	工事費	932,373	869,018	93.2	998,700	913,289	91.4
	水源施設関連	73,334	69,505	94.8	80,000	69,217	86.5
	配水場関連	32,859	25,349	77.1	80,000	56,369	70.5
	配水支管	347,192	285,261	82.2	321,400	303,470	94.4
	基幹管路	478,988	488,903	102.1	517,300	484,233	93.6
	固定資産購入費	45,524	43,251	95.0	15,416	16,323	105.9
	企業債償還金	407,538	408,483	100.2	419,416	422,988	100.9
	計	1,526,408	1,469,042	96.2	1,587,832	1,496,481	94.2
資本的収支不足額		▲ 999,657	▲ 957,127	95.7	▲ 1,081,485	▲ 1,025,621	94.8
補填財源	消費税資本的収支調整額	75,460	75,168	99.6	50,000	72,837	145.7
	損益勘定留保資金	814,512	665,034	81.6	836,800	658,375	78.7
	利益剰余金処分額	109,685	216,925	197.8	194,685	294,409	151.2
	補填不能額	0	0	—	0	0	—

単位：千円、％

平成29年度			平成30年度			令和元年度		
計画	決算	決算/計画	計画	決算	決算/計画	計画	決算	決算/計画
2,123,737	2,123,392	100.0	2,115,076	2,089,626	98.8	2,106,415	2,064,229	98.0
2,093,437	2,099,974	100.3	2,084,776	2,067,928	99.2	2,076,115	2,044,000	98.5
27,300	20,129	73.7	27,300	18,424	67.5	27,300	17,347	63.5
3,000	3,289	109.6	3,000	3,274	109.1	3,000	2,882	96.1
170,076	177,224	104.2	166,253	169,649	102.0	162,287	172,717	106.4
4,029	3,651	90.6	3,221	1,447	44.9	3,012	1,591	52.8
4,400	8,897	202.2	4,400	4,571	103.9	4,400	4,270	97.0
0	0	—	0	1,185	—	0	275	—
149,647	151,575	101.3	146,632	150,030	102.3	142,875	153,747	107.6
12,000	13,101	109.2	12,000	12,416	103.5	12,000	12,834	107.0
0	0	—	0	0	—	0	0	—
2,293,813	2,300,616	100.3	2,281,329	2,259,275	99.0	2,268,702	2,236,946	98.6
2,000,859	1,759,894	88.0	1,973,490	1,766,742	89.5	1,995,927	1,804,525	90.4
171,000	178,229	104.2	171,000	172,064	100.6	171,000	166,592	97.4
112,000	80,463	71.8	112,000	86,878	77.6	112,000	86,034	76.8
425,191	367,818	86.5	425,191	367,792	86.5	426,339	368,566	86.4
26,000	19,008	73.1	26,000	16,557	63.7	26,000	15,810	60.8
236,000	229,737	97.3	230,000	251,511	109.4	236,000	262,479	111.2
112,500	51,523	45.8	107,000	49,123	45.9	125,000	62,138	49.7
816,202	788,471	96.6	800,746	771,814	96.4	798,042	767,197	96.1
36,956	9,920	26.8	36,543	6,770	18.5	36,536	34,934	95.6
65,010	34,725	53.4	65,010	44,233	68.0	65,010	40,775	62.7
134,421	92,753	69.0	139,146	86,268	62.0	143,575	79,014	55.0
124,330	91,783	73.8	129,055	85,076	65.9	133,484	77,937	58.4
10,091	970	9.6	10,091	1,192	11.8	10,091	1,077	10.7
2,135,280	1,852,647	86.8	2,112,636	1,853,010	87.7	2,139,502	1,883,539	88.0
158,533	447,969	282.6	168,693	406,265	240.8	129,200	353,407	273.5

単位：千円、％

平成29年度			平成30年度			令和元年度		
計画	決算	決算/計画	計画	決算	決算/計画	計画	決算	決算/計画
400,000	400,000	100.0	400,000	400,000	100.0	400,000	300,000	75.0
0	0	—	0	0	—	0	0	—
28,131	41,210	146.5	24,881	28,795	115.7	24,881	34,402	138.3
62,362	62,362	100.0	32,087	32,087	100.0	1,214	1,214	100.0
490,493	503,572	102.7	456,968	460,882	100.9	426,095	335,616	78.8
135,800	186,527	137.4	150,600	131,765	87.5	161,600	136,215	84.3
100,000	85,072	85.1	100,000	72,740	72.7	100,000	64,344	64.3
32,800	96,235	293.4	47,600	53,607	112.6	58,600	65,716	112.1
3,000	5,220	174.0	3,000	5,418	180.6	3,000	6,155	205.2
1,017,200	997,040	98.0	1,002,400	1,047,580	104.5	991,400	943,054	95.1
41,000	30,548	74.5	44,000	62,166	141.3	38,000	51,786	136.3
0	0	—	10,000	0	0.0	0	0	—
380,600	377,858	99.3	425,400	370,520	87.1	393,700	449,086	114.1
595,600	588,634	98.8	523,000	614,894	117.6	559,700	442,182	79.0
11,690	8,514	72.8	23,690	8,610	36.3	11,690	74,956	641.2
423,161	431,386	101.9	413,878	424,517	102.6	396,210	410,792	103.7
1,587,851	1,623,467	102.2	1,590,568	1,612,472	101.4	1,560,900	1,565,017	100.3
▲ 1,097,358	▲ 1,119,895	102.1	▲ 1,133,600	▲ 1,151,590	101.6	▲ 1,134,805	▲ 1,229,401	108.3
50,000	81,205	162.4	50,000	81,735	163.5	50,000	93,595	187.2
852,658	647,142	75.9	836,789	628,800	75.1	820,403	648,658	79.1
194,700	391,548	201.1	246,811	441,055	178.7	264,402	487,148	184.2
0	0	—	0	0	—	0	0	—

収益的収入のうち給水収益は平成30年度以降は計画を若干下回り、給水収益以外の収入も計画値との差は行でした。
収益的支出のうち動力費、受水費、修繕費、支払利息等で計画値を大きく下回りました。要因として、動より低い利率で借入れたこと等が挙げられます。
資本的収入のうち企業債は、借入額を平成28年度と令和元年度に計画よりそれぞれ５千万円と１億円減額
資本的支出のうち事務費は年度間に差があるものの概ね計画値との乖離なく推移し、工事費は入札差金やし、資本的支出は、概ね計画どおりの執行でした。
中期財政収支計画については、収益的収支において期間を通じて計画を上回る当期純利益を計上しており

５　企業債残高

単位：千円、％

区分	平成27年度			平成28年度		
	計画	決算	決算/計画	計画	決算	決算/計画
企業債残高	5,410,408	5,409,461	100.0	5,390,992	5,336,473	99.0

企業債は老朽管更新事業に充当し、各年度の予算編成における収支状況や内部留保資金の状況を考慮して今後の企業債の借入については、過度に企業債に依存して将来世代への負担が大きくならないよう、管路

６　業務指標

区分	平成27年度			平成28年度		
	計画	決算	決算/計画	計画	決算	決算/計画
有収率（%）	91.1	91.1	100.0	91.3	92.9	101.8
経常収支比率（%）	113.1	119.0	105.2	109.3	120.5	110.2
営業収支比率（%）	111.4	115.8	103.9	107.8	117.6	109.1
職員一人当たり給水収益（千円）	100,088	101,384	101.3	100,100	100,427	100.3
供給単価（円）	110.62	111.18	100.5	111.04	111.12	100.1
給水原価（円）※	105.95	101.77	96.1	109.98	99.88	90.8
給水収益に対する企業債償還金（%）	19.4	19.2	99.0	20.0	20.1	100.5
給水収益に対する企業債支払利息（%）	5.4	5.0	92.6	5.7	4.7	82.5
給水収益に対する職員給与費（%）	8.0	8.6	107.5	8.1	8.5	104.9
給水収益に対する企業債残高（%）	257.4	254.1	98.7	256.5	253.0	98.6
経年化管路率（%）	6.6	6.2	93.9	8.8	6.7	76.1
管路耐震化率（%）	15.5	15.4	99.4	16.5	16.4	99.4
水源（井戸）更新率（%）	48.6	51.4	105.8	54.3	57.1	105.2

※給水原価は、計画値と整合性を取るため、長期前受金戻入控除を調整して算出しています。

有収率は、令和元年度に計画を僅かに下回りましたが、概ね計画どおりでした。今後も漏水調査の実施や
経常収支比率、営業収支比率ともに期間を通じて100%を超え、計画値を上回っています。効率的で、収
職員一人当たり給水収益は計画値を上回りました。また、供給単価は概ね計画どおりで、給水原価が期間
給水収益に対する企業債償還金は給水収益が計画を下回った分、計画値を若干上回りました。給水収益に
給水収益に対する職員給与費は水需要の減少及び人事異動や給与改定等の影響により計画を多少上回りま
術継承を行います。
管路耐震化率は、基幹管路を重点的に更新したため、期間を通じて計画値を僅かに下回っています。引き
の更新は計画どおりに実施しました。
業務指標については、全般的に指標の優位性の方向に推移しており、概ね計画どおりの業務実績を達成し

あるものの、増減額としては計画値に影響を及ぼすものではなく、収益的収入は、概ね計画どおりの執

力費は水源施設等の契約種別や電力調達方法の見直しによる電気料金の削減、支払利息は企業債を予定

し、企業債借入額の抑制に努めました。
工事内容の見直しなどにより計画値より低減できました。施設、管路の更新・耐震化は計画どおり実施

資本的収支における不足額が概ね計画どおりであることから、良好な経営業績を達成しました。

単位：千円、％

平成29年度			平成30年度			令和元年度		
計画	決算	決算/計画	計画	決算	決算/計画	計画	決算	決算/計画
5,367,831	5,305,086	98.8	5,353,953	5,280,569	98.6	5,357,743	5,169,777	96.5

借入額を抑制したことや計画的な償還により、企業債残高は計画より１億９千万円程度低減できました。
更新計画や財政計画を勘案して活用します。

平成29年度			平成30年度			令和元年度		
計画	決算	決算/計画	計画	決算	決算/計画	計画	決算	決算/計画
91.4	92.7	101.4	91.5	92.1	100.7	91.7	91.3	99.6
107.4	124.2	115.6	108.0	121.9	112.9	106.0	118.8	112.1
106.2	120.8	113.7	107.2	118.3	110.4	105.5	114.4	108.4
99,687	99,999	100.3	99,275	108,838	109.6	98,863	102,200	103.4
111.04	111.17	100.1	111.04	111.22	100.2	111.04	111.30	100.2
111.88	97.07	86.8	111.14	98.77	88.9	113.04	101.71	90.0
20.2	20.5	101.5	19.9	20.5	103.0	19.1	20.1	105.2
5.9	4.4	74.6	6.2	4.1	66.1	6.4	3.8	59.4
8.2	8.5	103.7	8.2	8.3	101.2	8.2	8.2	100.0
256.4	252.6	98.5	256.8	255.4	99.5	258.1	252.9	98.0
10.4	8.5	81.7	11.9	9.8	82.4	13.7	10.9	79.6
17.4	17.2	98.9	18.3	18.0	98.4	19.2	18.9	98.4
60.0	60.0	100.0	62.9	62.9	100.0	65.7	65.7	100.0

老朽管の更新など適正な維持管理により漏水防止対策を進め、高水準を維持していくよう努めます。
益性が高く保たれた、安全・健全な経営状況で推移しています。
を通じて計画値を10%程度下回っているため、給水に係る費用は水道料金収入で十分賄われました。
対する企業債支払利息が計画値を下回ったのは、予定より低い利率で企業債を借入れたためです。
したが、計画値との乖離は縮小傾向です。今後も、研修の実施等による人材の育成や次世代職員への技

続き、耐震化計画及び投資計画に基づき耐震化率向上に努めていきます。また、老朽化した水源（井戸）

ました。

Ⅲ 環境負荷低減への取り組み

１　建設工事における資源リサイクルの推進

建設発生土は土質改良土として、コンクリート及びアスファルト殻は再生砕石として、再利用しました。また、建設発生土を流用土として、区画整理区域内等の歩道部埋め戻し材に活用し、効率的な資源利用に取り組みました。

廃棄物の減量化のため、水道とガスの更新工事において舗装復旧を同時に行うことにより、建設発生土の減量を図りました。配水管布設工事に伴う仮設配管工事において、ステンレス管のリース材を使用することにより、廃棄物を削減しました。

地球温暖化防止対策としては、排出ガス対策型の建設機械を指定し、夜間に使用する照明器具に省エネルギータイプを指定する等、環境に配慮した工事を実施しました。

今後も、建設副産物の減量化と再資源化等により、資源の有効利用を推進していきます。

２ 省エネルギー対策の推進

平成28年度に整備した高崎第一調整池では新たに省エネルギーポンプを導入し、公用車については省エネルギー、低公害など環境に配慮した仕様の車両を購入しました。令和元年度には、水源井戸の取水量調整のため１箇所の起動盤をインバータ起動盤に更新し、可変速化により消費電力を低減することができました。今後も、省エネルギー機器、高効率機器の導入を進め、施設更新時には積極的な採用に取り組んでいきます。

また、庁舎管理等の業務においては、節電、節水等のエコ活動を通じ、電気、水道及び公用車のガソリン使用量、印刷用紙等の削減に努めました。引き続き、省エネルギー対策を推進していきます。

以上、計画どおり事業を実施し、環境負荷低減に努めました。

Ⅳ　計画達成状況の総合評価

中期経営計画に係る事業計画につきましては、概ね計画どおりに達成することができました。

引き続き、第６次焼津市総合計画に掲げられた「安定した水道水の供給」を実現し、次世代に健全な水道事業を引き継いでいけるよう、令和元年度に策定した『焼津市水道ビジョン・経営戦略2020』の計画で掲げた３つの基本方針である「安全でおいしい水の供給」、「災害に強い水道の構築」、「未来につながる健全な事業経営」に基づき、健全経営を行うために一層の基盤強化を図り、おいしい水を未来につなぐよう努めていきます。

Ⅴ　計画達成状況の公表

(1) **公表時期**　　令和２年12月予定

(2) **公表方法**　　焼津市水道事業ホームページ、市情報公開コーナーなど